

○琴丘支所

日 程	令和5年3月8日(水)
会 場	議長室
開 会	午前9時00分～午前9時27分
出席委員	伊藤千作(委員長)、平賀 真(副委員長)、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	渡邊支所長、渡辺補佐、岡本係長

No.	質疑応答の概要
1	<p>P25 ひまわりセンター使用料について、利用見込数7,000人の根拠は。また、利用料金を値上げする理由及び緩和措置として回数券等の検討は。</p> <p><b>答</b> 利用見込数は、浴室の稼働が7月後半(浴室工事の工期が6月30日まで)となることから、例年における同期間の利用者数から算出している。値上げは光熱水費の高騰対応のためであり、その緩和措置として回数券を導入した場合は、発券機が使えないため、ひまわりセンターに人員を常時配置しなければならなくなる。</p>
2	<p>P61 上岩川生活改善センター解体工事実施設計業務について、委託料が高額ではないか。</p> <p><b>答</b> アスベスト除去も含む設計業務委託であるため、適正と考える。</p>
3	<p>P63 みたね鯉川地区交流センター運営費・事業費補助金及び旧上小校舎利活用協議会運営費・事業費補助金について、団体の主な活動は。また、補助申請等の精査は厳に行われているか。</p> <p><b>答</b> みたね鯉川地区交流センター運営委員会については、五郎文庫の運営が主であり、旧上小校舎利活用協議会については、マレットゴルフ等のイベントを行っている。補助申請等の精査については、支所でも慎重に審査しており、また、監査委員による監査も受けている。</p>
4	<p>P69 草刈等業務の6人は、募集するのか。</p> <p><b>答</b> 刈払機取扱作業員安全衛生教育の受講を条件として公募する。</p>

○山本支所

日 程	令和5年3月8日(水)
会 場	議長室
開 会	午前9時30分～午前9時47分
出席委員	伊藤千作(委員長)、平賀 真(副委員長)、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	皆川支所長、石井補佐、湊係長

No.	質疑応答の概要
5	P25 石倉山バンガローの利用者数の推移は。 <input type="checkbox"/> 答 令和元年度の63件をピークに、コロナ禍で減少はしたものの、4年度からは回復基調にあるので、5年度は通常ベースで予算計上している。
6	P41 森岳駅乗車券販売について、利用者数の推移は。 <input type="checkbox"/> 答 コロナ禍で減少はしたものの、令和5年2月時点で令和3年度比113%となっているため、回復傾向にあると捉えている。
7	P69 草刈等業務委託で6人を公募するとしているが、予定数を見込めるか。 <input type="checkbox"/> 答 例年、予定数は確保できている。
8	P71 下岩川地区振興会補助金について、その用途は。 <input type="checkbox"/> 答 コロナ禍において実施できなかった研修や、旧下岩川小学校の環境整備等が計画されている。
9	P151 惣三郎沼公園駐車場舗装補修工事について、予算計上をすることになった基準等はあるか。 <input type="checkbox"/> 答 予算計上しなければならない損壊の箇所数や面積等の基準はない。利用者の安全確保のため計上したものである。
10	P151 石倉山公園外灯LED化工事について、LED化の理由は。 <input type="checkbox"/> 答 長寿命化・電気料削減のためである。

○総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和5年3月8日（水）
会 場	議長室
開 会	午前9時54分～午前10時42分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、川村補佐、石井係長、高橋係長、見上主席主査、 嶋田主席主査

No.	質疑応答の概要
1 1	P21 自衛隊基地交付金について、どのように交付額が決定されているか。 <input type="checkbox"/> 答 国の予算の範囲内で市町村へ按分配分される。そのため、国の予算枠が変わらず、他市町村において拡充要因があれば、本町への配分は減額となる。
1 2	P39 財政調整基金について、繰入額はどのように決定されるか。また、当初予算成立後の基金残高の見通しは。 <input type="checkbox"/> 答 繰入額は、歳出の不足額を計上するものである。令和4年度に比べて普通建設事業費が多くなっているため、繰入額も多くなっている。令和4年度3月補正予算及び令和5年度当初予算への繰入後の基金残高はおよそ37億円であり、標準財政規模の20%である15億円以上は確保できているので、今後も不足とならないよう計画的に運用していきたい。
1 3	P39 合併振興基金について、繰入額はどのように決定されるか。 <input type="checkbox"/> 答 各課の歳出事業に充当するよう計上している。
1 4	P39 ふるさと元気づくり基金について、繰入後の基金残高は。 <input type="checkbox"/> 答 およそ7,700万円である。
1 5	P63 本庁舎車庫改修工事について、改修内容は。 <input type="checkbox"/> 答 合併後において、応急処置を除き、抜本的な改修をしていなかったため、屋根の全面葺き替えを行うものである。
1 6	P75 備品購入費について、公用車を購入するに当たって、国から脱二酸化炭素の指示等はあるか。 <input type="checkbox"/> 答 国からの指示等はなく、予算計上している公用車2台はガソリン車である。今後は、脱二酸化炭素といった要因も勘案しながら予算措置を検討しなければならないと考えている。
1 7	P84 秋田県議会議員選挙費に関連して、投票率向上の取組は検討されているか。 <input type="checkbox"/> 答 投票所の再編と合わせて、共通投票所・出前投票所等について、検討を進めている。
1 8	P84 下岩川財産区議会議員選挙費について、当町の選挙管理委員会が選挙事務を執行するのか。また、財産区議会議員の定数等は。

No.	質疑応答の概要
	答 その通りである。財産区議会議員の定数は6人、任期は4年で、財産区域内に3月以上在住している者に選挙権がある。

○税務課

日 程	令和5年3月8日(水)
会 場	議長室
開 会	午前10時49分～午前11時24分
出席委員	伊藤千作(委員長)、平賀 真(副委員長)、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	嶋田課長

No.	質疑応答の概要
19	P17 たばこ税について、前年度比増となっているが、どのように積算しているか。 <input type="checkbox"/> 答 過去5年(平成29年度～令和3年度)の決算額の平均から積算している。
20	P19 入湯税について、積算方法は。 <input type="checkbox"/> 答 過去3年(令和元年度～3年度)の決算額の平均に97%を乗じている。
21	P21 環境性能割交付金とは。 <input type="checkbox"/> 答 自動車取得税の廃止に伴って導入されたもので、環境への配慮により0～3%課税されたものが市町村に交付されるものである。
22	P39 町税延滞金は、100万円の収入が見込まれるのか。 <input type="checkbox"/> 答 例年の決算からの見込額を計上している。
23	P81 たばこ販売組合補助金について、増額要請はあるか。 <input type="checkbox"/> 答 増額要請はないので、不足はないものと考えている。
24	P81 納税貯蓄組合事務費補助金に関連して、組合数や近年の動向は。 <input type="checkbox"/> 答 150程度の組合が活動しているが、高齢化等により解散する組合が増えている。また、みらい創造プランの審議会事業検証結果において「今後は事業内容の見直しや廃止等の検討もあってよい」と指摘されていることから、当該検討を行っているところである。

○議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和5年3月8日（水）
会 場	議長室
開 会	午前11時25分～午前11時34分
出席委員	伊藤千作（委員長）、平賀 真（副委員長）、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	池内主席主査
No.	質疑応答の概要
25	<p>P53 施設備品として購入する傍聴席用椅子の取替計画は。</p> <p><b>答</b> コロナ禍において一般の傍聴席（定数15）の取替を実施した場合、1人当たりのパーソナルスペースの確保が難しくなるため、コロナ収束等の社会情勢を注視しながら進めたい。報道関係者の傍聴席については、配慮すべき事項がないので、遅滞なく進めたい。</p>

○会計課

日 程	令和5年3月8日(水)
会 場	議長室
開 会	午前11時39分～午前11時45分
出席委員	伊藤千作(委員長)、平賀 真(副委員長)、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	平澤課長、国塚補佐
No.	質疑応答の概要
26	P25 コピー機使用料は、1,000円程度の収入見込か。 <input type="checkbox"/> 答 予算としては、存置として1,000円を計上しているものであるが、決算としては、例年、15,000円程度の収入がある。

○企画政策課

日 程	令和5年3月8日(水)
会 場	議長室
開 会	午後1時00分～午後2時04分
出席委員	伊藤千作(委員長)、平賀 真(副委員長)、 遠藤勝昭、森山大輔、加藤彦次郎
欠席委員	なし
説 明 員	工藤課長、加藤補佐、伊藤補佐、川村係長、大村係長

No.	質疑応答の概要
27	P65 男女共同参画推進事業の講師謝礼等について、開催回数は。 <input type="checkbox"/> 答 ワークショップ等について、トータルで3回の開催を予定している。
28	P65-69 地域おこし協力隊事業について、事業予算に対して特定財源は充てられないのか。 <input type="checkbox"/> 答 特別地方交付税に措置される。
29	P65-69 温暖化対策推進事業について、何らかの特色を持った計画を策定するのか。 <input type="checkbox"/> 答 現段階ではゼロベースであるため、令和5年度において具体的な協議を重ねたい。
30	P71 自治会助成金について、助成額の積算方法は。 <input type="checkbox"/> 答 世帯数に350円を乗じて得た額としているが、それが15,000円に満たない場合は15,000円としている。なお、世帯数は、住民基本台帳による。
31	P71 集会所等施設整備費補助金について、令和4年度の実績件数は。 <input type="checkbox"/> 答 13件である。
32	P71 住民共助による地域づくり活動助成金について、令和4年度の実績及び5年度の見込は。また、助成額の積算方法は。 <input type="checkbox"/> 答 4年度は、6月補正からの実績となるが、3団体において活用されている。5年度は、10団体程度の活用を見込んでいる。助成金は、通年で継続的に行われる活動に対して、基本額に世帯数加算を行い助成している。さらに、自主防災組織の設立や除排雪活動に対しては、目的別加算を行っている。
33	P75 ふるさと納税業務について、今後の方針は。 <input type="checkbox"/> 答 返礼品の主力であった2種類が減少してしまったため、新たな産業や特産品の創出が必要と考えている。
34	P75 東京みたね会に関連して、会員はふるさと納税をしているのか。 <input type="checkbox"/> 答 役員数名については、ふるさと納税をされていることを確認している。
35	P75 定住対策事業費について、前年度比減となっているようだが、みらい創造プランに掲げた目標を達成できるのか。



No.	質疑応答の概要
	<p>☐ 定住対策を強力に推進したいところだが、空き家バンクに登録されている入居可能な物件が少なく、定住を希望される方の受け皿がないという、いわゆる「住む所問題」が課題であると認識している。</p>
3 6	<p>P75 三種ふるさと便事業の若者へのふるさと品は、どのような内容か。また、対象者数は。</p>
	<p>☐ 通年提供のレトルト食品やハム等の詰合せコースや、季節提供のメロンコースなどから選択できるようになっている。学生数を把握することができないので、本人からの申込みにより発送することとし、100人分を予算措置している。</p>
3 7	<p>P77 若者活動支援事業補助金について、今後の方針は。</p>
	<p>☐ 新規団体や女性団体も増えてきたので、団体間の横の連携も構築できるような支援を検討していきたい。</p>
3 8	<p>P77 関係人口創出補助金について、令和4年度の実績及び5年度の見込は。</p>
	<p>☐ 4年度は、2団体において活用され、5年度は、3団体の活用を見込んでいる。</p>
3 9	<p>P79 出会い創出事業補助金について、補助の対象は。</p>
	<p>☐ マッチングイベント等を企画した団体に補助するものである。</p>

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

予算特別委員会総務分科会委員長      伊 藤 千 作